

《リオのファヴェーラ(ブラジル)》(部分) 2011年 個人蔵

世界集落、 その魂を描く

HIRATO NAMBA

Painting the Soul of World Villages and Ruined Dwellings

《リオのファヴェーラ(ブラジル)》2011年 個人蔵

難

破

平



11.3 THU 木
無料開館
Free Admission

関連イベント

※新型コロナウイルス感染拡大の影響により、内容を変更する場合がございます。

① 講演会「世界集落を追って」

難波平人氏に本展出品作を中心にこれまでの画業についてお話しいただきます。

10月15日(土) 14:00-15:30

講師 | 難波平人氏(出品作家)

会場 | 当館1階アトスペース

定員 | 40名(参加無料、事前申込制)

締切 | 10月1日(土)必着

② ワークショップ「美術館周辺を描こう!」

東広島市立美術館周辺の景色を水彩画で描いてみましょう。完成した作品は当館アートギャラリーで11月8日から13日まで展示します。

10月22日(土) 9:30-12:30

講師 | 難波平人氏(出品作家)

会場 | 西条中央公園(北側)、当館1階アトスペース

定員 | 25名(参加無料、事前申込制、小学生以下は保護者同伴)

締切 | 10月11日(火)必着

③ コンサート「世界の歌を一緒に歌いましょう」

難波平人氏が取材した国の歌を参加者の皆さんと一緒に歌って楽しむコンサートです。

11月12日(土) 14:00-15:30

講師 | 難波英子氏(ギタリスト)、「シャコンヌ」メンバー、難波平人氏(出品作家)

会場 | 当館1階アトスペース

定員 | 30名(参加無料、事前申込制)

締切 | 11月1日(火)必着

④ 対談「画家が旅した集落と作品を語り尽くす」

瀬戸内から世界の辺境までを描いてきた画家・難波平人氏と、フィールドワークを通じ「風景美学」を探究する美学者・桑島秀樹氏による対談イベントです。

11月19日(土) 14:00-15:30

講師 | 難波平人氏(出品作家)

桑島秀樹氏(広島大学大学院人間社会科学研究科教授)

会場 | 当館1階アトスペース

定員 | 40名(参加無料、事前申込制)

締切 | 11月7日(月)必着

⑤ 夕暮れギャラリートーク

夜間開館日に担当学芸員が会場を案内しながら、展覧会の見どころを解説します。

10月28日(金)、11月25日(金) 各日18:00-18:30

会場 | 3階展示室(要観覧券、申込不要/人数制限を行う場合があります)

⑥ 新美術館開館2周年記念事業「ぶんかぶんかする日」

当館のリニューアルオープン日である11月3日の無料開館日に、美術館と西条中央公園でマーケットとワークショップを開催します。

11月3日(木・祝) 10:00-14:00

会場 | 西条中央公園(北側)、当館1階アトスペース

※イベント詳細は当館webサイトで順次公開予定



📷 難波平人展 会場内は撮影OK!

#難波平人展 #世界集落_その魂を描く #東広島市立美術館

📷 hhmoa_photo

🐦 hhmoa_tw

📍 東広島市立美術館

関連イベント①~④の申込方法

往復ハガキ/webフォームでお申し込みください

往復はがきの場合

[往信裏面]①イベント名②参加者及びイベント③は同伴者氏名(同伴者は1名のみとし「同伴者」と明記すること)ふりがな・年齢③代表者電話番号、住所

[返信表面]①〒返信先の住所、代表者氏名

申込先 | 東広島市立美術館(〒739-0015 東広島市西条栄町9番1号)

Webフォームの場合



※応募多数の場合は厳正なる抽選により、当選者を決定します。※応募は各イベントにつき1組1通(4名)まで、複数お申込みは1件として取り扱います。※記入内容に不足・不備がある場合は無効といたしますのでご了承ください。記入例は当館HPでご確認ください。

同時開催

本展チケットでご覧いただけます

「コレクション展第III期 旅におもいを馳せて」

会 場 | 2階展示室

観覧料 | 一般300円、大学生200円、高校生以下無料

関連イベント

クロストーク「坊一雄《クラマルの街》の修復について」

出品作品・坊一雄《クラマルの街》の修復を担当した若林涼華氏と担当学芸員が、その修復過程を中心に、描かれた風景について語りあいます。

11月26日(土) 14:00-14:30

講 師 | 若林涼華氏(修復家/K.S美術修復工房)、大山真季(当館学芸員)

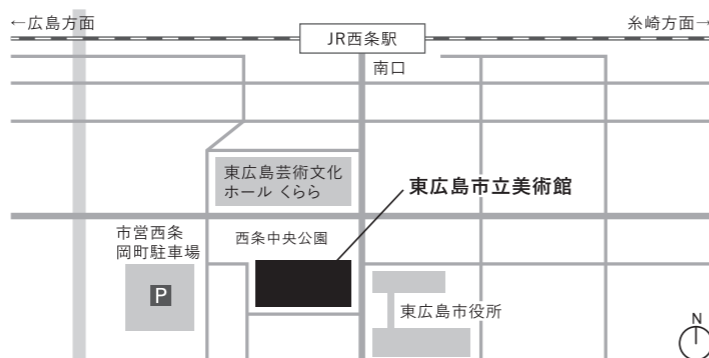
会 場 | 2階展示室(要観覧券)

東広島市立美術館
HIGASHIHIROSHIMA CITY MUSEUM OF ART

〒739-0015 広島県東広島市西条栄町9-1
9-1 Saijosakaemachi, Higashihiroshima, Hiroshima 739-0015
TEL.082-430-7117 FAX.082-430-7118 https://hhmoa.jp/

電 車 | JR山陽本線「西条駅」南口から約400m(徒歩約10分)
新幹線 | JR山陽新幹線「東広島駅」から「西条駅」行バス「中央公園前」下車すぐ(バス約20分)
自動車 | 山陽自動車道「西条インターチェンジ」から約7分
※車でご来館の際は近隣の駐車場をご利用ください。市営西条岡町駐車場をご利用の方は、駐車場料金が2時間無料になります。

Train JR Saijo Station – around 400 meters (a 10 minute walk)
Shinkansen JR Higashihiroshima Station (Sanyo Shinkansen) – Take the bus headed to Saijo Station and get off at the Chuo Koen-mae stop. (about 20 minutes). The museum is close to the stop.
Car About 7 minutes from the Saijo IC to the Sanyo Expressway.
*When visiting the museum by car, please use a parking lot in the neighborhood.
Users of the municipal Saijo Okamachi Parking Lot may park free of charge for up to 2 hours.



2022.10.12 WED — 12.4 SUN

会 場 | 東広島市立美術館 3階展示室
開館時間 | 9:00-17:00(入館は閉館30分前まで) ※10月12日(水)は10:00開館/10月28日(金)、11月25日(金)は19:00まで開館

休 館 日 | 月曜日

観 覧 料 | 一般 800(640)円、大学生 500(400)円*、高校生以下無料*

※()内は20名以上の団体料金/*学生証をご提示ください/後期高齢者医療被保険者証・身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳の交付を受けられている方は、無料でご観覧いただけますので、受付で各手帳等(スマートフォンアプリ「MIRAIO ID」も利用可能)をご提示ください。

Venue: Higashihiroshima City Museum, 3rd Floor Exhibition room
Hours: 9:00-17:00 (Last admission 30 minutes before closing / Open 10:00 on Wednesday, October 12 / Open 9:00-19:00 the Fridays of October 28, November 25)
Close on Mondays

Admission: General ¥800(640), University students ¥500(400), High school students or younger get free admission
*Prices in parentheses are for groups of more than 20. *Admission is free for those who have been issued Elderly Medical Insurance Certificates, Physical Disability Certificates, Medical Treatment and Education Handbook, or Mental Disability Certificates.
Please present your certificate or handbook at reception. Please confirm at reception if you are eligible(Smartphone app "MIRAIO ID" can be used).

※新型コロナウイルス感染拡大防止対策を実施しています。最新情報は当館HPをご確認ください。

主催 | 東広島市立美術館、中国新聞社
後援 | 中国放送、広島テレビ、広島ホームテレビ、テレビ新広島、広島エフエム放送、(株)広島リビング新聞社、プレスネット、KAMON ケーブル、FM東広島89.7MHz、尾道エフエム放送、広島大学

東広島市立美術館
HIGASHIHIROSHIMA CITY MUSEUM OF ART

〒739-0015 広島県東広島市西条栄町9-1
TEL.082-430-7117 FAX.082-430-7118 https://hhmoa.jp/

人



1

難波平人

世界集落、その魂を描く

HIRATO NAMBA

Painting the Soul of World Villages and Ruined Dwellings

一貫して国内外の集落・遺跡などの“世界集落”を描くことで独自の作品世界を創りあげてきた画家・難波平人(1941-)。山口県熊毛郡上関町の長島や祝島の風景のなかで生まれ育った難波は、学生時代から約25年間、画家の原風景である海岸線の集落を題材に日本全国を訪ね歩き、その後約35年あまりにわたって世界の集落・遺跡を求め100か国以上を取材してきました。そして、80歳を過ぎた今も制作拠点である東広島市八本松町で自身の表現を追求しています。本展は、難波の60年以上の画業を、郷里を描いた学生時代の作品から、欧州、アフリカ、アジア、中南米など国内外の集落や遺跡を描いた迫力ある大作、また取材時のスケッチや写真などの関連資料まで併せてご紹介するものです。集落・遺跡の姿に画家の心象を重ね、そこに内在する普遍的な人間の存在や、過去から現在、そして未来へと続く時間——まさしく世界集落の“魂”を描き続ける難波平人の現在までの軌跡をご覧ください。



2



難波 平人
HIRATO NAMBA

1941年山口県熊毛郡上関町白井田生まれ。1964年に広島大学教育学部美術科を卒業、翌年同大学の研究生修了。その後、安井賞展、二紀展などの公募展に出品、入選や受賞を重ねながら、広島大学教授として35年間勤務し、後進の育成に励むなど地域の芸術文化振興と発展に尽力する。1986年ヒロシマアートグラント'86受賞。1995年文化庁芸術家派遣でトルコ、翌年には文部省在外研修員派遣でフランス、イタリアを取材。2002年広島文化賞受賞。2004年中国文化賞受賞。2013年広島県地域文化功労者表彰。2014年文化庁地域文化功労者文部科学大臣表彰。2016年ウンベルト・マストロヤーニ国際芸術賞(イタリア)。ミハイ・エミネスク国際芸術賞(ルーマニア)。現在、二紀会理事、広島大学名誉教授、広島大学名誉博士。



3



5

- 1.《深淵(トルコ)》1993年
 - 2.《海の家》1971年
 - 3.《ドゴンの集落(マリ)》2001年
 - 4.《ラリベラ(エチオピア)》2008年
 - 5.《レオンの街(ニカラグア)》2014年
 - 6.《集落》1975年
- ※すべて個人蔵

6



4

Namba Hirato (1941 -) is a painter who has consistently created his unique world of works by painting “World Villages and Ruined Dwellings,” including villages and ruins both in Japan and abroad. Mr. Namba was born and raised among the island scenery of the Nagashima and Iwashima Islands in Kaminoseki, Kumage-gun, Yamaguchi Prefecture. For 25 years since his school days, he has visited coastal villages all throughout Japan, and these landscapes have left great impressions on him which have lasted until adulthood. After that, for more than around 35 years he has sought out villages and ruins around the world and has covered over 100 countries. What's more, even at over 80 years old he is pursuing his expression in Hachihonmatsu, Higashihiroshima City, which is his base for creation.

This exhibition presents Mr. Namba's paintings from his over 60-year career, from his works painting his hometown during his college days, to his powerful major works, which paint villages and ruins both in Japan and abroad, including Europe, Africa, Asia, and Latin America. In addition, this exhibition shows related materials, including sketches and photographs from when he was gathering source materials. The painter's imagery piles up in the form of villages and ruins. The existence of universal humans, and time from the past to present, and continuing to the future, is inherent there. In this exhibition, you can certainly see a trajectory to the present Namba Hirato, who continues to paint the soul of world villages and ruined dwellings.